



第3回

経済毒性とその測定方法、経済毒性を軽減する方法

近年、経済毒性（Financial Toxicity）は世界中で関心が高まっており、学会や論文などの発表が増加しています。国民皆保険制度の日本においても医療費や収入減少による患者さんやご家族への経済的な負担は大きく、経済毒性による健康への悪い影響が懸念されています。今回は経済毒性の測定方法と軽減する方法を中心とした国内外のエビデンス、日本国内のこれまでの研究や取り組みを紹介します。

2022 5/19 (木)

18:00~19:00

(Zoomウェビナー)

参加費:無料

参加登録:必要

①NPOホームページから

②QRコードから



講師

梶本 裕介先生

東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学
MSD株式会社オンコロジーサイエンスユニット



北海道札幌市出身。医薬品開発に携わるなかで医療とお金の問題に関心を持ち、大学院にて医療経済に関する研究を始める。

2017年に海外での経済毒性（Financial Toxicity）の問題を知り、2018年から日本での婦人科腫瘍患者における経済毒性の研究を実施している。

国内外の学会での発表などを通じて経済毒性の問題とエビデンスを伝えている。

お問い合わせ

NPO法人愛知がんネットワーク事務局

〒464-0008名古屋千種区宮根台2-11-17

吉祥宮根の郷 106

mail info@aichi-cancernetwork.com

<https://www.aichi-cancernetwork.com/>



スマホの方はこちらのQRコードから
お申し込みできます。